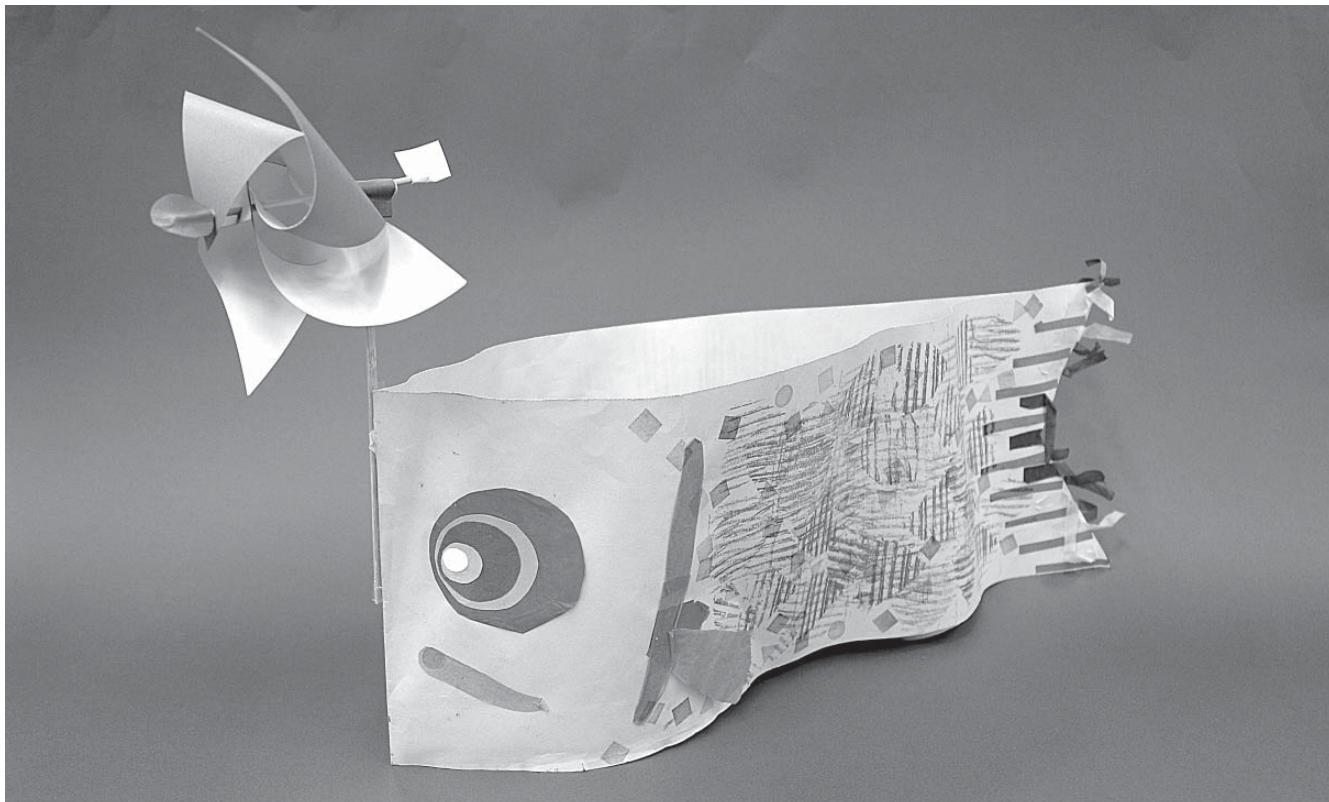


作って遊ぶ “変身”の造形

造形活動は作ることで終わりではありません。作ったものを身につけたり、まとったりして、何かになりきって遊ぶ“変身”的アイテムを考え、作ることも造形活動のひとつです。他の人とは違うデザインにしてみよう、大きくしてみよう——想像しながら創造的な活動へつなげます。一人ひとりが作ったものでも、たくさん子どもたちが作った「コイかぶり」が集まると、こいの大群になります。



「コイかぶり」(端午の節句)

5月は、新緑がみずみずしく目に映り、1年のなかでも特別にさわやかな季節です。

少し前までは、庭先に竹ざおなどを立て、大きなこいのぼりを高く掲げて「端午の節句」を祝う家がたくさんありました。郊外に行くと、電車の窓からたくさんのこいのぼりを見る事ができました。最近では、マンションのベランダで空を泳ぐ、小さなこいのぼりに変わっていました。

こいのぼりを揚げ、武者人形などを飾る「端午の節句」の風景は変わっても、子どもの成長と健康を願う気持ちは、

子どもたちは自分を何かに見立てて、“変身”する遊びが大好きです。造形スタジオで作った「コイかぶり」を身に着けるとすぐに、5月の空を元気に泳ぐ“こいのぼり”に変身できるのです。

さらに、ひと工夫。「コイかぶり」に風車を着けてみます。風に向かって立つか、自分が走り出しかすれば、風車はくるくる回りはじめます。風車が回ることで風を感じ、あたかも自分が青空を泳いでいる気分になります。

みんなと一緒に走り出せば、もっとたくさんの風を感

昔から変わりません。日本の伝統的な季節行事として、私たちの生活のなかで生き続けています。

こいのぼりは、江戸時代の武家に男子が生まれたら幟（はた）を立てて祝うという風習と、「鯉が龍門を登ると竜となって天をかける」という中国の故事が合わさって、日本独特の文化として生まれました。こいのぼりの素材も、戦前までは和紙に手描きであったものが、木綿や合成繊維に変わってきました。

「端午の節句」で、まず頭に浮かぶのはこいのぼりです。造形遊びでも、こいのぼりを題材にしました。「コイかぶり」は、飾るものというより、帽子のように頭にかぶって、子どもたちがこいに変身して遊ぶものです。

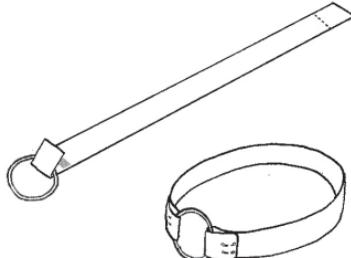
遊びの“道具”を作る造形遊びです。

じることができます。風を受けて回る風車を「コイかぶり」につけることでイメージが広がり、子どもたちは空高く飛んでいきます。

「コイかぶり」には、スタンプを作つて模様をつけます。スタンプインクを蛍光インクにしたり、はり付ける紙や描画材を蛍光タイプにすると、ブラックライトをあてる「光るこいのぼり」に変身することもできます。造形遊びの基本は同じでも、造形素材や画材、技法で造形表現や造形遊びの幅を広げることができます。

□「コイかぶり」の作り方□

①「コイかぶり」の土台になる、頭にかぶる輪を作ります。
ケント紙の帯の端を折り、輪ゴムをはさみホチキスでとめます。
頭に巻いてサイズを計って、反対の端も同じようにとめます。
※髪の毛などが引っかかるないように、
ホチキスの歯が外側に向くようにとめます。



②半分に折ったラシャ紙の端を
こいの尻尾の形に切ります。

③ラシャ紙のこいのなかに、ケ
ント紙の輪を入れて、のり付
けします。

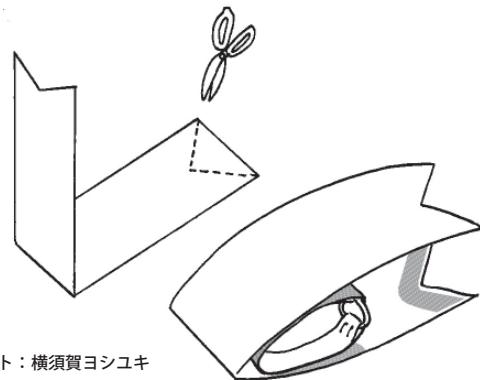
※ラシャ紙の折り線とケント紙の折り線（それぞれの紙の中央）を合わせて、
それぞれの紙の下端をそろえて、のり付けします。
尻尾の内側も、開かないようにのりでとめます。

④飾り付け用のスタンプを作ります。

波段ボールを好きな形に切り、3層段ボールにのりで
はりつけます。凹凸のある素材も利用します。



④スタンプを押して、こい
のウロコにします。
目やひげは、色紙で作
ります。



イラスト：横須賀ヨシユキ

□「かざぐるま」作りで使う道具□

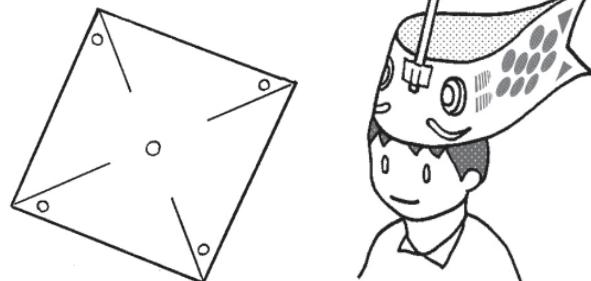
はさみ／鉛筆／のり／はさみ／ポンチ（4mm径）
／ポンチ台／木づち／砂袋／セロハンテープ

□「かざぐるま」の材料□

- ①Wクラフト紙（15×15cm）1枚
- ②色ラシャ紙（3×6cm）3枚
- ③平竹ひご（長20cm）1本
- ④竹ひご（太さ3mm×15cm）1本
- ⑤太いストロー（長3cm）1本
- ⑥飾り用色紙

□「かざぐるま」の作り方□

①Wクラフト紙の上に型紙をおき、
鉛筆で印をつけます。

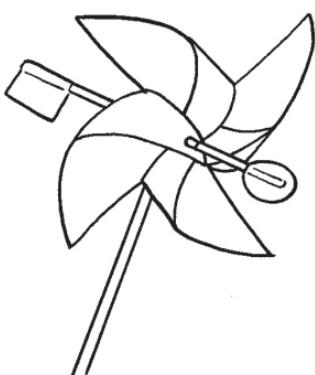


②4本の線にあわせて、ハサミで切り込みを入れます。
丸い印のところは、ポンチで穴を開けます。

③紙の中心の穴に竹ひごをとおし、四隅の穴を順番に竹ひごにとおします。

最後に、色ラシャ紙を半分に折って、竹ひごの前の端にのりづけ。

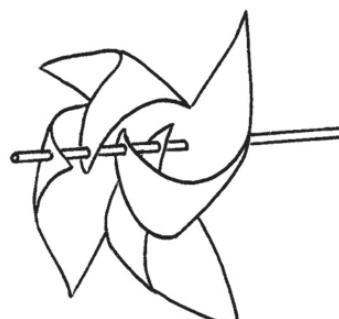
Wクラフト紙が抜けないようにします。



④平竹ひごの端にストローをはり
ます。平竹ひごとストローが直
角にまじわるように、ストロー
の開口部をふさがないようにセ
ロハンテapeでとめます。

その上に、色ラシャ紙をのり付けし、補強。紙の端は、ストローからはみだ
さないように折り込みます。

平竹ひごの反対側は、色紙をはって飾ります。



⑤ストローに、風車本体の竹ひごをさしこみます。竹ひごの後ろ端は、抜け落
ちないように、色ラシャ紙を半分に折ってのり付けします。色紙などで飾り
付けをして完成です。

□「コイかぶり」作りで使う道具□

はさみ／のり／ホッチキス／スタンプ（●▲■半
丸）／スタンプ台（赤、青、緑）

□「コイかぶり」の材料□

①ラシャ紙（短い辺×長い辺の1/4）1枚
※半分に折った状態でわたす

②ケント紙の帯（3×50cm）1本
※半分に折った状態でわたす

③飾り付け用スタンプ

3層の段ボール（5×5cm）／波段ボール（5×
5cm）／凹凸のある素材各種（5×5cm）

④飾り用色紙など

⑤輪ゴム 1本